

平成21年度 日本電気技術規格委員会
第1回 溶接専門部会 議事要旨

1. 日時:平成21年7月3日(金)13:30～16:30
2. 場所:財団法人発電設備技術検査協会 本部 E・F 会議室
3. 出席者(順不同、敬称略)

部会長:野本(東京大学名誉教授)

委員:三原(富山大学)、小溝(大阪大学)、菅谷(日本溶接協会)、小関(東京大学)、堂ヶ原(関西電力)、小川(住友金属)、原田(東芝)、横野(日本非破壊検査協会)、佐川(三輪田代理、中部電力)、菅沢(火原協)、塚原(日本電気協会)、森本(新日本製鐵)、大津(山下代理、神戸製鋼所)、青木(IHI)、高塚(NISA)、浴田(東京電力)、鶴崎(笠口代理、三菱重工業)、逢澤(日立製作所)

説明者:尾形(試験検査検討 Gr 幹事)

傍聴者:森崎(電事連)

事務局:吉田、佐藤、高橋、井上、中井

4. 配付資料

WS-21-1-1	委員名簿
WS-21-1-2	平成20年度第2回溶接専門部会議事要旨
WS-21-1-3	WS 書面投票結果と対応
WS-21-1-4	検討課題・検討要望一覧表
WS-21-1-5	提案された検討課題
WS-21-1-6	検討課題 WS08-06:ペローズの取付け溶接
WS-21-1-7	検討課題 WS09-XX:液化ガス用貯槽のリングプレート
WS-21-1-8	検討課題 WS09-XX:適用できる管の外径制限
WS-21-1-9	検討課題 WS09-XX:放射線透過試験(RT)の方法と判定基準の改正提案検討方針案
番号無し	書面投票及び専門部会出席実績表

5. 議事概要

5-1 新委員の紹介 [資料 WS-21-1-1]

新任委員承認の報告があり、新任委員から挨拶がされた。

5-2 定足数の確認

本部会において、審議成立の定足数である14名を満たすことが確認された。

委員総数21名;出席19名(内、代理出席3名)、欠席2名

5-2-1 委員の任期延長について

次の委員の委員委嘱期日が11月6日までであることから、委員再任について審議がなされた。

再任の決議は部会長の判断により挙手により行われた。(佐川(三輪田委員代理)氏、菅沢委員は一時退席)

三輪田委員 賛同 17名 再任 承認
菅沢委員 賛同 17名 再任 承認

5-3 前回の溶接専門部会議事要旨の紹介(報告事項) [資料 WS-21-1-2]

前回議事要旨は既に承認されており、内容の確認を行った。

- 5-4 WS 書面投票結果と対応について(報告事項) [資料 WS-21-1-3]
事務局から平成 21 年 1 月 19 日～7 月 2 日に書面投票を行った投票結果及び改正提案に対するコメント等対応状況が報告された。
また、それぞれの対応表に関して次のとおり意見等がなされた。

投票番号 JESC/WS0017:「溶接後熱処理の温度(別表第 9、別表第 19、別表第 20 及び別表第 21)」

【概要】:P-5-2,P-6 材料の ASME 及び解釈との PWHT 温度の整合化

: **継続検討**

検討方針:異材継手に対する PWHT 温度についてラップする温度範囲が何 までであれば良いのか検討する。

投票番号 JESC/WS0018:「手溶接士の技量試験事項・試験の方法・資格表示(第 110 条、第 113 条、別表第 13、別表第 14 及び別表第 17)」

【概要】:別表第 13 の溶接方法・試験材及び溶接姿勢・溶接棒の区分の明確化、その他、第 113 条及び別表第 17 の作業範囲の明確化

: **コメント対応中**

投票番号 JESC/WS0019:「JIS Z 3801 のティグ溶接資格の扱いについて(別表第 16)」

【概要】:別表第 16 のティグ溶接法に T-1,F(下向),V(立向),H(横向),O(上向),P(水平及び鉛直固定)に対応する資格の記載

: **提案可決**

投票番号 JESC/WS0020:「継手接続箇所への放射線透過試験要求の明確化(別表第 24)」

【概要】:長手継手と周継手が十字形に交差する箇所の RT 要求の表現方法の明確化

: **保留意見取り下げ 可決**

投票番号 JESC/WS0021:「溶接専門部会委員の新任の承認(笠口泰宏氏)」

: **可決**

投票番号 JESC/WS0022:「溶接専門部会委員の新任の承認(逢澤俊彦氏)」

: **可決**

- 5-5 検討課題(新規)の採否について(審議事項) [資料 WS-21-1-4、5]

事務局から資料により新規検討提案の検討採否について、課題の審議がなされた。

審議の結果、「No.EC 要望番号 081205-3“溶接後熱処理における温度範囲及び溶接部の厚さに応じた保持時間”」について、文中「薄い方の厚さ」と記載されている。

「厚い方」が的確ではないか検討を行う必要はないか。

本件の検討を“対象外”から“検討開始”に修正する。

資料 WS-21-1-4 の課題の検討採否決議は上述の修正をすることで、資料の内容を一括採否決議とした。

決議方法は、部会長の判断により挙手で行われた。

資料 WS-21-1-4 「検討課題・検討要望 一覧表」

検討採否 投票数 19 賛同 19 名 検討採用決議

- 5-6 検討課題の審議について(審議事項) [資料 WS-21-1-6～9]

資料により検討会幹事及び幹事代理(事務局)から書面投票への採否に関する審議がな

された。

資料の検討課題を書面投票にかける決議は部会長の判断により挙手で行われた。

(1) 課題番号 WS08-06 「ペローズの取付け溶接」

【概要】：第 136 条“管又はネックリングにペローを取り付ける継手の溶接部”に胴も対象にする提案

書面投票採否 投票数 19 賛同 19 名 書面投票に移行決議

“ネックリング”という用語は JIS 等に定義されていない用語である。火技のみに定義することは後々齟齬を生じる可能性があるため定義づけしないと結論づけているが、定義付けをしないとその用語が判らないことにならないか。一般に“ネックリング”の用語が通じるものなのか確認し、どう扱うか検討すること。

(2) 課題番号 081205-6 「液化ガス用貯槽のリングプレート」

【概要】：第 154 条“液化ガス設備の溶接部の設計”において、LNG 地下式貯槽指針で制定されている「リングプレート」を溶接部の設計の対象に追加する提案

書面投票採否 投票数 19 賛同 19 名 書面投票に移行決議

提案のとおり LNG 地下式貯槽の屋根支持構造の形式は“リングプレート”のみ追加で良いのか。その他追加すべき支持形式がないか調査すること。

(3) 課題番号 081205-9 「適用できる管の外径制限」

【概要】：管台を取り付ける継手の溶接部で別図第 4(28)の管の外径の変更提案

書面投票採否 投票数 19 賛同 13 名 反対 6 名 書面投票に移行は否決

管の肉厚 13mm 以下の応力解析をして、問題ないことを確認する必要がある。

管台のテーパタイプでは、応力解析のみで考えると最大発生応力は小さいと判断できるが、溶接作業性の観点からも検討する必要がある。

(4) 課題番号 WS09-XX 「放射線透過試験(RT)の方法と判定基準の改正提案検討方針案

【概要】：別表第 25“放射線透過試験”の方法について、鋼・アルミ・ステンレス鋼・チタンの溶接部の RT 方法として JIS 規格を引用する提案

(改正提案検討方針の紹介)

方針は了承された。ただし、JIS の引用に際しては、体系を尊重し、都合の良い箇所を引用しないようにすることが必要とのアドバイスがあった。

5-7 その他

5-7.1 次回スケジュールについて

次回部会の日時は

平成 21 年 12 月 3 日(木) 13:30 ~

となった。場所等は事務局から追って連絡することとされた。

5-7.2 事務手続きの連絡等

特になし。

以上